

第71回国立病院総合医学会における QC活動ステージ発表の結果

～全国最優秀賞・全国特別優秀賞・全国優秀賞・ポスター優秀賞決定～

平成29年度QC活動奨励表彰において249題の応募があり、その中からグループ最優秀賞に選ばれた6組が、高松で行われた国立病院総合医学会QCイベントでステージ発表を行いました。本部役員等による審査の結果、全国最優秀賞等が決まりましたのでご紹介いたします。

全国最優秀賞

東埼玉病院 物品管理お任せ隊 X (エックス)
SPD 導入はコスト大でしょ？いや無料でやっています！
～放射線科で作ったSPDで経営改善策～

全国特別優秀賞

豊橋医療センター まぜ猫
NHO注射薬配合連合 まぜんなよ ～注射薬配合変化検索システムの構築～

四国子どもとおとなの医療センター 漏れなく請求し隊
漏れなく請求したい!! ～医業収益と実診療額の検証を通じた請求業務向上の取り組み～

全国優秀賞

北海道がんセンター どんな問ジャー隊
外来における問診票の見直し

大阪南医療センター ベストカルテを探せ！電カルGO
ベストカルテ作成運動2017 ～電カルオリンピック☆めざせチャンピオンカルテ!!～

東佐賀病院 チームMK
離床を促し関わりを増やしたい!! ～経管栄養患者 離床へのアプローチ～

QCポスター優秀賞

総合医学会にてポスター掲示を行い、各グループ優秀賞を受賞した25チームの中から、各病院からの投票やステージ発表やポスター発表にお越しいただいた方からの投票の結果、以下の3チームが選ばれました。

埼玉病院 エネルギー管理チーム
今日も巡回、エネルギームダハブキ隊

新潟病院 さわやかプロジェクト
病棟の空気を清浄に！臭い0運動はじめました!!

敦賀医療センター 住み慣れた地域へ帰ろう！サポートチーム
退院支援看護師 私たちの出番です！～退院支援加算1取得の観点から～

QC ポスター優秀賞

病棟の空気を清浄に！ 臭いの運動はじめました！！

新潟病院 さわかプロジェクト

病棟の空気を清浄に！ 臭いの運動はじめました！！



独立行政法人国立病院機構新潟病院
水島 和江 小田 良子
宗方 麻理 花井より子

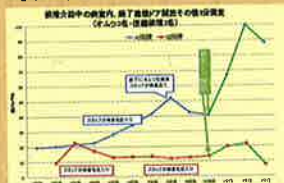
【qc活動のきっかけ】

施設の第一印象は「臭い」で決まる。といわれます。新潟病院は、H26年7月に新病棟となり、全館で、第一種換気を採用しました。引越し当初の説明で、「オムツ交換は部屋を閉め知り、換気扇を強にすると臭いは漂いませぬ」とありました。排泄援助の時はドアを閉め、換気扇を『強』にする、ハード面での臭い対策を開始しました。2つの筋ジストロフィー等病棟では、ほとんどの患者がゴム便器やオムツを使用し、一日の活動を始めます。この日課のため、午前中の排泄援助の時には援助中の部屋を閉め切っても『廊下が臭う』と指摘を受けました。

【院内外へのアピール】



【改善前後比較】



排泄援助中の病室内で測定したところ、排泄援助を行っている最中でも、急激な臭いレベルの上昇はなく、スタッフが廊下に汚物を運ぶため、ドアを開放すると廊下から空気が移動し、レベルが上昇しました。

【現状把握】

- ハード面での対策を実施しているのに、廊下が臭うのはなぜ？
- どの場所が、いつ、どんな時に臭うのか知りたい
- 臭いは慣れる。私たちの鼻では客観的な分析ができないのでは？

① 病室を締め切って排泄援助中の病室内で10分、終了直後ドアを開放し3分測定

② 排泄援助中の廊下を15分間測定（ほとんどの患者が同時刻に洗滌を実施し、便の排泄を促す時間帯）

③ 臭いの感じない廊下を15分測定（排泄援助がない時間帯）

ハンディにおいモニター-OMX-ADMで臭いレベルを可視化

【改善対策】

対策内容	対策内容
病室ドアの閉鎖	排泄援助開始（ゴム便器を配布した後・洗滌をかけた後）から、病室のドアを閉める
強制換気の最大限の利用	排泄援助者が援助に入る前に換気扇を『強』にして排泄援助を実施する
トイレ自動ドアの瞬間閉を防ぐ	トイレの自動ドアのセンサー範囲を確認し、廊下にマークをする。トイレに用いる離れ患者様は範囲に入らないように注意する
使用済みオムツの密閉	ビニル袋は事前に準備し、オムツ交換直後使用したおしりふき・手袋を入れ密閉する
オムツ袋の消臭	袋に貼る消臭剤を使用する。月に1回交換する
オムツ袋の早い交換	使用済みオムツを入れるダンボールは、汚物室の前に位置する部屋の排泄援助が終わったら、交換し新しいダンボールを使用する
便臭を抑える	特に便臭が強い患者様を選定し、ピフィズ臭の摂取を進める

対策前	対策内容
排泄に使用したゴム便器は、廊下に置いてあるカートに置き、すべての部屋の回収が終わったら汚物室に入れ、洗浄する	①使用後のゴム便器は、一部屋ごとに病室にいたカートで回収する ②使用後のゴム便器は、カートで回収せず、ひとつづつ汚物室に運ぶ ③①～②部屋の回収が終わったら、汚物室に運ぶ ※以上の方法を各病棟で選択して実行する
排泄物そのものから排泄臭が漂い臭いレベルが上昇した	廊下に排泄物が置かれることを防ぐ

A病棟の取組み結果です。排泄援助を待っている室内からの臭いなくなりました。排せつ物が入ったゴム便器を回収する回収車を室内に入れることで回収車から漂う臭いなくなりました。おむつ交換車からの臭いもほとんどなくなりました。スタッフが出入りすると、急激に臭いは上昇しますが、素早く閉めるとすぐに臭いレベルは下がりました。

B病棟の排泄援助中の廊下の臭いは、改善後顕著に臭いレベルが上昇しました。締め切った室内で排泄援助し、その部屋から出てきたスタッフが臭いをまどって移動したためと思われます。

A病棟の臭いの感じない廊下の結果では、ベースが下がったことは明らかですが、トイレの自動ドアが開かないことで臭いレベルが上昇しませんでした。

【まとめ】

2つの筋ジストロフィー等病棟での臭い対策は、一定の効果を示しました。今後の方針として、筋ジストロフィー病棟での取り組みを続けること。また、定期的な臭いレベルの調査で適切に取り組みが継続されているかチェックする必要があります。一方、臭いの快・不快は個人差があります。排泄臭以外の臭いを悪臭と捉える場合もあると思われます。今後の課題として、臭いモニターの数値だけでなく、より多くの対象から得られる主観的データ、いわゆる感覚での評価との相関に着目した調査を実施し、新たな知見を得る試みが必要と考えます。